

# 団体名 **ベジタブルでまちづくり**

メンバー 桑嶋 順一  
樋渡 由美

## 健康十訓の一例

- 小肉多菜
- 小塩多酢
- 小糖多果
- 小食多噛



# 事業の目的・内容

目的: 人材の有効利用

平和通商店街周辺の活性化

内容: 家庭菜園で採れた野菜の朝市の開催

家庭菜園で採れた野菜の

野菜ボックスの販売

# 米沢のまちを元気に

まちが元気



- ・住んでいる人が生き生き、活気がある
- ・訪れる人が多く、訪れた人が元気に  
まちそのものの魅力(歴史・名物・温泉)

住人の魅力

## 住んでいる人が元気に

- 高齢者の社会がやってくる  
= 高齢者も若い人も元気に

必要なもの(ニーズ)

高齢者の人材活用・・・野菜づくりの技  
町の資源活用・・・たくさんの農地

外にもたくさんありますが・・・

スポットを当てたい高年齢者の得意ジャンル

## 野菜作り

野菜のおいしさを伝えながら、やすく新鮮な野菜が買える場所  
畑を作っていない家族に提供できる

都会で開催されている **マルシェジャポン**  
を手本にしたい

# 提案の背景

- 野菜ソムリエの資格を持っている  
おいしい野菜を作っている人との付き合いがある
- 自宅で料理教室を主宰
- 古代米の栽培をしている



# マルシェ・・・市場

手本にしたいマルシェ

マルシェ・ジャポン

2009年秋、農林水産省の支援により全国8都市で始まった

都市住民参加型の市場(マルシェ)です。

従来の朝市とは違う

2010年グッドデザイン賞

デザイン・・・小山薫童

米沢は地方都市です。

でで、今今いいいい

他の地地地地ののののののの  
てて輝きききき。

そそ以以ににににににに



# ベジタブル「絆マーケット」

- ひと月限定で週末朝市を開く 7月or8月  
場所: 平和通り商店街又はその周辺〔商店街ならではの雰囲気がある〕  
ねらい  
野菜を売ると共に、家族で商店街で朝のひと時を  
過ごしてもらいたい→平和通り商店街周辺の活性化  
出店: 1軒2人以上で(子供も可)  
野菜の試食を出す  
出店者の リストを作って会場で配付  
野菜の特徴も添える。  
総合案内所を作る

# 問題点

- 野菜は作れるけど、商品価値としての野菜はわからない
- 野菜の販売に関して知識がない
- 勉強会
  - 2月 野菜作りについて勉強会
  - 5月 野菜の販売についての勉強会

# 資金計画

- ・30件の出店
  - ・4回開催
  - ・お客さん450家族
- (円)

会場設営	200,000	4回		
印刷代	90,000	ポスター	等	
講師料	40,000			
駐車場代	70,000	補助		
その他	100,000	備品費	事務費	等
計	500,000			

# 「絆マーケット」の後に

- 気に入った出店者の野菜が購入できるようにする 窓口を作る

# 予想される成果

会話をしながら野菜を買うことができれば、  
お年よりも野菜の作り甲斐と収入ができ、  
若い世代の人たちもおいしい野菜を日々食べ  
られ、健康と子供達への食育にもつながる。

平和通りとその周辺の活性化

# そして未来へ

- 野菜販売の対象を米沢市民から都会の人たちへ
- 「絆マーケット」に参加（観光と共に）→野菜の宅配

古民家への宿泊

畑、たんぼの体験（アグリツーリズム）